



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 魚力

上場取引所 東

コード番号 7596 URL <http://www.uoriki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 尾後貴 隆

TEL 042-525-5600

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,764	0.0	248	17.6	279	2.2	187	0.5
29年3月期第2四半期	12,764	10.2	301	31.1	273	49.9	188	57.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 292百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 84百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.64	
29年3月期第2四半期	13.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	16,625	14,042	84.3	1,019.30
29年3月期	16,915	14,025	82.8	1,018.21

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,017百万円 29年3月期 14,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		20.00	40.00
30年3月期		18.00			
30年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	5.7	870	13.4	970	9.0	750	0.5	54.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,620,000 株	29年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	868,063 株	29年3月期	868,063 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,751,937 株	29年3月期2Q	13,899,363 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善を背景とした個人消費の伸びや、概して手元キャッシュ・フローが潤沢な企業による設備投資の拡大を牽引役として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、朝鮮半島情勢の緊迫化などの地政学リスク、米国の保護主義的な動き、中国の景気失速懸念など不透明な海外情勢、実質賃金の伸び悩みによる個人消費の鈍化、人手不足の深刻化による一部業種における供給制約の発生といった景気下振れリスクが懸念される状況であります。

また、雇用情勢の改善は継続し個人消費は緩やかに持ち直しているものの、夏のボーナスが減少傾向にあるなど個人所得の伸びが力強さを欠くため、生鮮食品はじめ食品全般の低価格志向や日常的支出における節約志向は依然として根強いものがあります。

一方、水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡大による仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループにおきましては、経営目標として「“魚力ブランド” 確立への挑戦」を掲げ、強い魚力の復活に向けて、各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

この間、小売事業で3店舗を出店し、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は78店舗となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は127億64百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は2億48百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益は2億79百万円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億87百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①小売事業

小売事業では、地元漁港と連携した「産地直送フェア」などのイベントにより販売促進を図りました。特に、上半期の最大イベントである「土用丑の日」セールでは前年を上回る実績を上げました。しかしながら、サンマをはじめとする旬の生魚が概して不漁であったことや、アニサキス食中毒に関する報道の影響もあり、当第2四半期連結累計期間における既存店舗の売上高は対前年同期比3.9%の減少となりました。

新店は、平成29年4月にJR総武線本八幡駅に隣接する「シャポー本八幡」内に「本八幡店」（千葉県市川市）、同じく4月に国道16号線ロードサイドに立地する「島忠ホームズ相模原店」1階「スマイルワン・生鮮館相模原古淵店」内に「魚力市場相模原店」（神奈川県相模原市）、9月に名古屋市中心部、納屋橋エリアの複合施設「テラッセ納屋橋」の食品スーパー「ラ フーズコア納屋橋」内に「名古屋納屋橋店」（愛知県名古屋市）を開店しております。

この結果、売上高は117億12百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3億4百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

#### ②飲食事業

飲食事業では、売上高は前期新店の増収効果により増加いたしました。また、効率的な店舗運営に努めました。

他方、新業態として前期出店した「築地魚力」については、店舗運営体制の確立に取り組みました。

この結果、売上高は3億73百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は4百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

#### ③卸売事業

卸売事業では、子会社の株式会社大田魚力は外食チェーンを中心とした取引先を専門とし売上高は2億30百万円、当社は前期より国内スーパーマーケットへの卸売事業を大田魚力から引き継いでおり、売上高は3億54百万円となりました。

平成28年4月に設立した合弁会社の株式会社シーフードワークスは、高鮮度凍結魚の販売をはじめ事業を拡大し、売上高は2億66百万円となりました。

しかしながら、他社との競合により取引環境は厳しさを増しており、この結果、グループ全体の卸売事業の売上高は6億45百万円（前年同期比2.3%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は71億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億25百万円減少いたしました。これは主にその他に含まれる未収入金が8億5百万円減少したことによるものであります。固定資産は94億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億35百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が7億17百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、166億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2億27百万円減少したことによるものであります。固定負債は2億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、25億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は140億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が87百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が1億5百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.3%（前連結会計年度末は82.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,797,366	4,997,166
受取手形及び売掛金	1,865,228	1,704,524
有価証券	40,000	40,000
商品及び製品	138,087	283,897
原材料及び貯蔵品	6,337	6,869
その他	937,099	126,366
流動資産合計	7,784,119	7,158,824
固定資産		
有形固定資産	1,407,058	1,395,021
無形固定資産	27,564	20,053
投資その他の資産		
投資有価証券	5,893,899	6,611,492
その他	1,802,617	1,440,052
投資その他の資産合計	7,696,517	8,051,544
固定資産合計	9,131,141	9,466,619
資産合計	16,915,260	16,625,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,179,111	1,048,005
未払法人税等	295,575	67,874
賞与引当金	134,126	134,361
その他	1,007,686	1,101,243
流動負債合計	2,616,499	2,351,484
固定負債		
退職給付に係る負債	231,470	190,619
その他	42,000	40,500
固定負債合計	273,470	231,119
負債合計	2,889,970	2,582,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,448,673	1,448,673
利益剰余金	12,488,083	12,400,561
自己株式	△1,251,503	△1,251,503
株主資本合計	14,248,873	14,161,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49,410	55,994
土地再評価差額金	△260,113	△260,113
為替換算調整勘定	17,111	19,212
退職給付に係る調整累計額	45,855	40,850
その他の包括利益累計額合計	△246,557	△144,057
非支配株主持分	22,973	25,545
純資産合計	14,025,289	14,042,839
負債純資産合計	16,915,260	16,625,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,764,486	12,764,060
売上原価	7,629,962	7,656,655
売上総利益	5,134,524	5,107,404
販売費及び一般管理費	4,832,825	4,858,735
営業利益	301,698	248,669
営業外収益		
受取利息	17,400	31,914
受取配当金	31,299	36,603
不動産賃貸料	5,340	771
為替差益	-	7,504
その他	16,299	16,376
営業外収益合計	70,338	93,169
営業外費用		
自己株式取得費用	64	-
持分法による投資損失	1,202	61,026
不動産賃貸費用	4,018	1,049
為替差損	73,986	-
土壌処理費用	18,900	-
営業外費用合計	98,172	62,075
経常利益	273,865	279,763
特別利益		
固定資産売却益	10	54,008
投資有価証券売却益	27,287	-
持分変動利益	5,626	-
特別利益合計	32,924	54,008
特別損失		
固定資産除却損	743	991
賃貸借契約解約損	14,108	-
特別損失合計	14,851	991
税金等調整前四半期純利益	291,938	332,780
法人税、住民税及び事業税	110,956	27,762
法人税等調整額	△1,599	114,929
法人税等合計	109,357	142,691
四半期純利益	182,581	190,088
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,803	2,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,384	187,516

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	182,581	190,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243,739	105,404
為替換算調整勘定	△11,454	-
退職給付に係る調整額	20,363	△5,005
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,663	2,100
その他の包括利益合計	△267,492	102,500
四半期包括利益	△84,911	292,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,107	290,017
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,803	2,571

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,760,635	340,838	631,132	12,732,606	31,879	12,764,486	—	12,764,486
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	98,580	98,580	9,300	107,880	△107,880	—
計	11,760,635	340,838	729,712	12,831,186	41,179	12,872,366	△107,880	12,764,486
セグメント利益 又は損失(△)	355,904	△2,709	9,261	362,457	16,517	378,974	△77,275	301,698

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△77,275千円には、セグメント間取引消去△11,095千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△66,180千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,712,910	373,002	645,552	12,731,466	32,593	12,764,060	—	12,764,060
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	197,342	197,342	9,300	206,642	△206,642	—
計	11,712,910	373,002	842,895	12,928,809	41,893	12,970,703	△206,642	12,764,060
セグメント利益 又は損失(△)	304,541	4,550	△1,059	308,033	16,975	325,008	△76,339	248,669

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,339千円には、セグメント間取引消去△9,663千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△66,675千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。